

名都借の木



2021年7月8日発行
発行者:流山市立木の図書館
(指定管理者:株式会社すぼる)
住所:流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000

夏休みを迎えて、いつもなら山や海、博物館や動物園へ遊びに行くシーズンです。しかし今年は、混雑や長距離の移動は避けるように勧められています。そこで、インターネットでの“お出かけ”はいかがでしょうか。

デジタル・アーカイブ

いろいろな美術館や博物館、図書館が、インターネットで収蔵品の写真を見ることが出来る「デジタル・アーカイブ」を公開しています。千葉県立図書館「菜の花ライブラリー」や船橋市立図書館では、古文書、古地図、写真などの郷土資料をインターネットで個人利用の範囲で楽しむことができます。

国立国会図書館の「ジャパンサーチ」では、「クリエイティブコモンズ」という権利表示の方法で、素材として商用利用が可能などの著作権上の扱いを明確にしています。

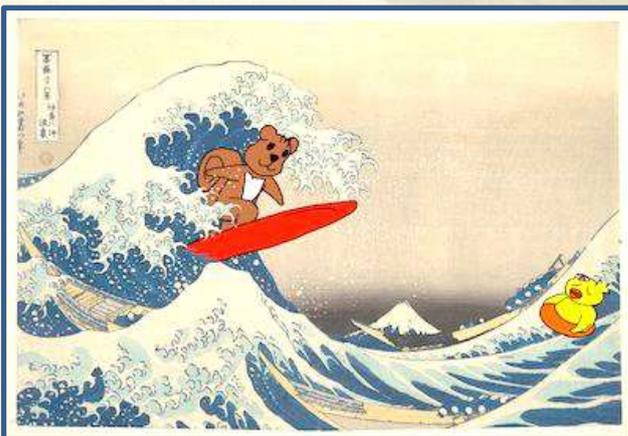
さらに世界に目を向けてみると、デジタルアーカイブごとに利用条件が違う場合があります。

例えば葛飾北斎「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」は、ジャパンサーチでは権利者明示が必要な「CC-BY」、メトロポリタン美術館では完全に無条件で使用可能な「CC0」という条件で公開されています。つまりメトロポリタン美術館が公開している画像なら、

このように自分で手を加えたものを公開したり、これをトートバッグに印刷して売るときも、権利者や加工した旨を表示する必要はありません。



ジャパンサーチの検索画面
CC-BY 4.0



「かはく VR」、「東京ゾーネット」で公開している「東京 Zoovie」や「水族園 VR」では、館内を歩き回るようにインターネット上で見ることができます。また「Google Arts & Culture」というホームページでも、同様に「ミュージアムビュー」で参加館の館内を見ることができます。ホームページで国名や美術館名で検索してみてください。

もしインターネットで見た絵や地図、博物館のことを知りたい、とお考えでしたら、図書館をお使いください。大判の美術書や画集、博物館の案内などをご利用いただけます。

バーチャルミュージアム

「VR」「バーチャル」「博物館」などキーワードを組み合わせて検索すると、インターネット上で見学ができる博物館が見つかります。「国立科学博物館」の



成毛真ほか著「国立科学博物館のひみつ」(2015)「同 地球館探検編」(2017)ブックマン社刊



虫めづる人々の本



大人になった虫とり少年

宮沢輝夫



宮沢 輝夫／編著
『大人になった虫とり少年』
(朝日出版社)

～「好き」を手に入れる～

図書館には、色々なこども先生がいます。「恐竜先生」「電車先生」「折り紙先生」「甲虫先生」。どの先生も、好きな本には目が釘付けで貸し出すそばから、もれなく「本の虫」となります。

本書に登場する先生は、本業の世界では、いずれも名の通った方ばかりですが、自らのコレクションを手に写真におさまる様子は、まるで少年のようです。昆虫を一生の友とするような出会いが、自然の中だけでなく、図鑑や、学者先生などの大人からの惜しみない知識のバトンリレーの中にもあることに、気付かされます。

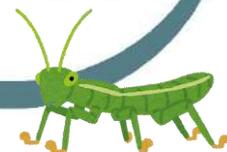


この本もおすすめてです！



メレ山 メレ子／著
『ときめき昆虫学』
(イースト・プレス)

今森 光彦／切り絵とことば
『むしのあいうえお』
(童心社)



他にこんな本もあります！



著者は『ファール昆虫記』を完訳した仏文学者です。1944年生まれの昆虫少年の見た自然や、病床でのラジオや少年誌の思い出が綴られます。

奥本 大三郎／著
『蝶の喰え(おし)え 現代のファールが語る自伝エッセイ』(小学館)



昆虫好きによる、昆虫採集の指南書です。昆虫の採集方法から、標本のつくり方、カメラでの撮影方法まで、虫好きならではの楽しい文章と写真が、たっぷりと詰まった一冊です。

養老 孟司／監修
『ぼくらの昆虫採集』(デコ)

木の図書館イベント情報

例年、ご好評いただいております、木の図書館の「ストーリーカフェ」が、今年も9月に、開催される予定です。毎回、流山市立博物館の学芸員の方に流山を中心とする近辺の「歴史」について、お話しいただいています。

昨年度は、前ヶ崎城や根木内城など「お城」について、その歴史や構造などを、流山市立博物館の貴重な資料とともに、楽しく説明していただきました。

館内や木の図書館ホームページなどでイベントの詳細情報を発信いたしますので、詳しくは、そちらをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。



子どもの木



紙芝居を楽しもう♪ ～昆虫編～



今回は虫がでてくる紙芝居についてご紹介していきます。
紙芝居は読む側と見る側にわかるので、読みあいっこしてみても
楽しいですよ。



風でとばされたみのむしくん。変身していく様子を見守ろう！

『みのむしくん』 (童心社)
いちかわ なつこ/脚本・絵



ホタルくんとカエルさん。ふたりがなかよくなったきっかけとは？

『ホタルくんとカエルさん』 (童心社)
得田 之久/脚本 やました こうへい/絵



もりのレストランへむかうくわがたバス。ぶしにたどりつけるかな？

『くわがたバス』 (教育画劇)
はっとり ひろき/作・絵



カブトムシのツノとクワガタのアゴ、キミならどう使う？

『ツノ対アゴ』 (教育画劇)
高嶋 那生/作・絵



かぶとむしが成虫になる様子を楽しく知ることができます。

『ぼくはかぶとむし』 (童心社)
渡辺 享子/脚本・絵



写真でアブラゼミの一生をみることができます。解説もよむとアブラゼミ博士になれるかも？

『フォトかみしばいかがくのアルバム アブラゼミ』 (あかね書房)

長谷川 仁/監修 七尾 純/構成・文
伊藤 信夫・岸田 功・久保 秀一・栗林 慧・佐藤 有恒
菅原 光二/写真 森上 義孝/イラスト



**楽しい夏休みにするために
夏休みの宿題に関する
図書の貸し出しはお早めに!!**

自由工作や自由研究、読書感想文課題図書は、
ご利用になる方が毎年多くいらっしゃいます。

1人でも多くの方が利用できるように、**早期のご予約をオススメ**しております！

宿題、はやく
おわらせちゃおう！





これからの木の図書館

連絡先
木の図書館
電話:04-7145-8000

郷土へのいざない vol. 29 ～流山に伝わる「不思議な話」

鱒ヶ崎の「目つぶしの鴨」、思井の「殿様を助けた犬」など、流山には古くから伝わる昔話があり、子どものころに聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。どの話も聞くと、あるような、無いような不思議なものが多いです。昔話で伝えられるほど大げさなものではないのですが、先人たちから聞いた「不思議な体験をした」、「不思議な話を聞いた」という話は他にもたくさんあります。その中の1つを紹介します。

～シブト坂で転ぶと 命がなくなる～

昔話「目つぶしの鴨」で語り継がれている東福寺に上がる道に、表の石段のほかに、昔はシブト坂と言われた坂があり、町の人をよくそこを歩いていました。そのころ伝えられていたのが、

「そこで転ぶと命が亡くなるから、転んだときは袖を片方千切っておいて来なくてはいけない」



今は石段になっているシブト坂

その坂は赤土で、雨が少しでも降るとツルツル滑りやすく、転びやすい場所。おまけに両端が崖だったそうです。

そのころ東福寺は、4月4日のお釈迦様の日にはお花祭りがあり、盛大に行われていたので大変なにぎわいで、訪問者はだれもその坂道を上って行きます。その時はみんな真剣で、転ばないように気をつけて登ったとか。当時は、一枚着物を作るということは大変なこと(着物を仕立てるのは高価なので)。せっかく作った着物の袖を千切っておいてくることはできない。でも、そうしないと命がなくなるというのですから…。

十二分にも気をつけるようにという先人たちの教えだったのかもしれませんが。



東福寺 表の石段

参考資料:流山市立博物館調査研究報告書 16「不思議」 流山市立博物館

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

斜線は休館日 青は17:00まで開館

青はイベント

休館日 7/19までの月曜日
9/6からの月曜日(祝日の場合は火曜日)
9月の月末日

開館時間 火曜日～土曜日 :9時30分～19時
日曜日、祝日、8/31 :9時30分～17時
8/26-30の月曜日